

## 第2学年1組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成30年12月5日(月)5校時(13:30~14:15) 2年1組教室

2. 議題「2年1組 なかよししゅう会をしよう」

### 学級目標

い	っぱい思い出
ち	からをあわせて
く	らすできょうりよく
み	んななかよし

3. 議題について

(1) 児童の実態

素直で明るく活発な児童が多く、学習に意欲をもって取り組んでいる。しかしまだ自分を中心に考えて行動する児童も多い。また、発言を積極的にする児童、しない児童が分かれている点が課題としてある。言葉がきついため周りの友達から敬遠されてしまう児童もいる。一方、優しい気持ちを持ち友達を気遣い、助け合う姿が見られる。

学級目標は、どんなクラスにしたいかという思いを話し合いまとめた結果、「もっと仲の良いクラスになり、楽しい思い出を沢山つくりたい。」という思いが込められたクラス目標になった。

後期に入り、誰かに言われる前に自分たちで行動し、声を掛け合って学習の準備や教室の移動などを進めるようになってきた。自分たちがクラスをまとめていくという意識が見られるようになってきた。折に触れて、「気付いて、良いと思ったら行動しよう。」「よりお兄さんお姉さんになった姿で3年生になろう。」と伝えてきた。置いてあるバケツに気付いて片付けたり、下駄箱の靴を自主的にそろえたりする児童も少しずつ増えてきている。自分が好きなことで、クラスの皆がより楽しくなるような係づくりを意識した。「思い出係」「スポーツ係」「ぎだいばこ係」等ができ、工夫して自分たちで考えて活動する姿が増えてきた。「給食では月に2回、席をばらばらにして食べる」「休み時間にスポーツ大会をやる」等の企画や提案が出て実行されるなど、生き生きと活動する姿が目立ってきた。

今までの学級会は、「おたのしみ会をひらこう」や「後期の係を決めよう」といった内容で行った。話し合いでは、活発な意見交換がされ、「楽しい会にしたい」「より楽しめる係を作っていこう」という意欲的な意見が沢山出ている。「くらべる」では問題点の解決策を話し合い、会議が滞りなく進むようにすることを目指している。集会は皆が協力して取り組み、楽しんでいた。一部の児童がルールを守らなかったり、興奮して司会者の話を聞けなかったりする場面もあった。振り返りをして、次は「司会の話をよく聞く」や「ルールをまもる」という意見がだされ共通意識となった。

(2) 議題選定の理由

11月に入り、今月が終わると残り4ヶ月になることを伝え、クラス目標は達成できているのか、より近づくためにはどうするかと聞くと、「もっと友達と仲良くなりたい」「楽しいことをして、たくさん思い出をつくりたい」「最高のクラスになって3年生を迎えたい」などの意見がでた。そこから「2年1組なかよししゅう会をしよう」という議題を選定した。今までの学級会で課題だった「友達の意見の良さを見つけ、認める」や「心配意見ではなく、賛成意見で決める」「内容をくふうする」などを意識して進めていきたい。出し合う段階では、友達の意見やその理由をしっかりと聞き、自分と違う意見も受け入れられるよう声を掛けていく。次の「くらべる」の段階では、自分の考えとくらべながら聞くだけでなく、もっとよいものはどれかを常に考えながら聞くようにする。様々な意見のよさを生かし、出し合った意見の中で、「似ているものはどれかな。合わせられるものはあるかな。」と工夫して考えていけるように教師が声を掛けていく。また、めあてか

ら逸れた場合には、「めあて」に立ち返り、意識させ、考えていけるよう支援したい。まとめる段階では、反対意見での消去法で考えてしまわないよう気をつける。話し合い活動の経験を積み重ね、最終的には、合意形成をして実践への期待感を高めていきたい。また、活動して終わりではなく、実践してみてどうだったかの振り返りを大切にする。学級目標に立ち返り、みんなが協力して取り組めたか、それぞれの感想や思いを共有することで学級全体としての一体感を高め、今後の学級生活を充実させていこうと考えている。

#### 4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級の身の回りの問題に関心をもち、他の児童と協力して進んで集団活動に取り組もうとしている。	学級生活を楽しくするために話し合い、自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲よく助け合って実践している。	みんなで学級生活を楽しくすることの大切さや学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の基本的な進め方などについて理解している。

#### 5. めざす子どもの姿に迫るための手立て

研究テーマ

**互いのよさを生かし合い、一人一人が輝く特別活動**  
 ～「なすことによって学ぶ」共に歩む姿をめざして～

低学年のめざす子どもの姿

- 自分の思いを伝えようとする子【自分に自信をもてる姿】
- 友達を大切に、一緒に活動する子【仲間と共に歩もうとする姿】
- 進んで活動し、みんなと仲よく助け合い学級生活をよりよくしようとする子【自分たちの生活は自分たちでつくっていこうとする姿】

#### 【自分の思いを伝えようとする子】（自分）

##### ○学級会ノートの活用（事前・学級会）

- ・学級会ノートには、自分の思いや考えを書き込めるようにする。事前に自分の意見をまとめることで、普段はあまり発言しない児童も意見を出し、話し合いに参加できるようにする。

##### ○意見を意欲的に伝えるための励ましのコメント（事前）

- ・教師が意見を把握するだけでなく、励ましのコメントを書いたり、言葉かけをしたりすることで、自分の考えに自信をもって話し合いに参加できるようにしたい。

##### ○学級会コーナーの活用（事前）

- ・話し合い活動の前に、議題、提案理由、めあてや決まっていること（日時、場所）を掲示することで、話し合いで自分の意見をもちやすくし、見通しをもって活動できるようにする。

##### ○板書の工夫 思考の可視化（学級会）

- ・短冊を活用し、意見を分類、整理して比べやすくする。
- ・賛成、反対マークを貼り、話し合いの過程や状況がわかるようにする。
- ・話し合いの流れが分かるように示し、見通しをもてるようにする。
- ・それぞれの意見のよさを生かしてみんなが納得できるように折り合いをつけられるようにする。

【友達を大切にし、一緒に活動する子】(仲間)

○論点を整理し、合意につながる教師の働きかけ(学級会)

- ・多くの子ども達の意見を生かして折り合いをつける話し合いを目指す。本時は自分が楽しいだけでなく、「もっと仲よくなるためには、どのようにやるのか」という視点をもって進め方を決められるように話し合いを進め、合意形成につなげていきたい。

○話し方、聞き方の掲示(常時)

- ・話し方を意識するために話型を掲示する。自信をもって発表することができるようにすることと、みんなに分かりやすい発表ができるようにする。

○司会グループによる事前の活動(事前・学級会)

- ・話し合いの進め方について事前に確認し、安心して進められるようにする。

【進んで活動し、みんなと仲よく助け合い学級生活をよりよくしようとする子】(生活)

○実践活動(事後)

- ・実践では、活動して終わりにせず、振り返りを大切に、学級が協力して一つの目標を達成できたかを振り返り、今後の学校生活の糧となる集会になって欲しいと考える。
- ・実践で進んで活動していた児童を褒め、次回への意欲づけをする。

○クラス目標に立ち返る(事後)

- ・実践を通してクラス目標のどの項目に合っていたのか、クラス目標に近づくことができたかを確認し、称賛する。

6. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動の内容	支援(○)と評価(☆)
11月中旬 朝の会	・もっと仲良くなり、思い出を 沢山つくりたいという意見が 出る。集会をしたいという意 見が出る。	○学級目標に近づいているか、 どうしたいのかを問いかけ、 意欲を引き出す。
11月27日 (火) 朝の会	・議題を選定する。 「2年1組 なかよししゅう 会をしよう」に決定。何をす るかを考える。	○今回の議題が「みんながもっと 仲よくなれるものである」こと を提案者に確認し、全体でも共 有する。 ☆寄せられた議題の中から議 題を選ぼうとしている。 (集団の一員としての思考・判 断・実践)
11月30日 (金) 朝の会 中休み	・学級会ノートに自分の考えを 記入する。 ・出された意見を短冊カードに 整理する。	○柱1「みんながもっと仲良くな る」「楽しい思い出をつくる」 のために何をするか、学級会ノ ートに書き、事前に意見を把握 することで、話し合いの方向性 を確認する。 ☆議題について自分の考えをもち、 学級会に向けての見通しを持 っている。 (集団の一員としての思考・判 断・実践)
12月3日 (月) 中休み	・教師からのコメントが書かれ た学級会ノートを受け取る。	○学級会ノートに励ましの言葉等 を記入し、話し合いの意欲を高 める。普段発言のない児童には 挑戦の大切さと励ましの声掛け をする。 ○説明が必要なものは図を描い て用意するよう伝える。

<p>12月4日 (火) 中休み</p>	<p>・司会グループで、議題と話し合いのめあて、学級会の進め方について確認する。出された意見を短冊に書く。</p>	<p>○司会グループの役割を説明し、イメージがもてるようにする。 ○司会の台本を提示し、話し合いの流れをつかめるようにする。 ☆話し合い活動の準備の仕方や基本的な進め方を理解している。(集団生活や生活についての知識・理解)</p>
<p>12月5日 (水) 中休み</p>	<p>・司会グループ、提案者で学級会の進め方について最終確認する。</p>	<p>○自分達で進めるように見守り、必要な時は助言する。 ☆効果的な司会グループの運営や話し合いの活動計画について考え準備している。(集団生活や生活についての知識・実践)</p>

(2) 本時の活動

①ねらい

クラスの皆が、より仲よくなり、思い出に残る集会にするために何をするか話し合う。

②活動計画

児童の活動	支援(○)と評価(☆)			
<p>1. はじめのことば</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>司会進行は、話合いの進め方が確認できるように台本を見ながら行う。</li> </ul> <p>2. 司会グループの説明</p> <p>3. 議題の確認</p> <p>「2年1組 なかよししゅう会をしよう」</p> <p>4. 提案理由の確認</p> <p>「みんなと もっとなかよくなって、たのしい思い出をたくさんつくりたかったから」</p> <p>5. めあての確認</p> <p>「みんなが もっとなかよくなって、思い出をたくさんつくれるしゅう会にしよう」</p> <p>6. 決まっている事の確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日にち、12月12日(水)</li> <li>場所(教室)</li> </ul> <p>7. 話合い</p> <p>柱①候補として出された遊びをどれにするか話し合う。</p> <table border="1" data-bbox="156 1153 279 1272"> <tr><td>出し合う</td></tr> <tr><td>くらべる</td></tr> <tr><td>まとめる</td></tr> </table> <p>8. 決まった事の確認</p> <p>9. 振り返り</p> <p>10. 先生の話</p> <p>11. 終わりの言葉</p>	出し合う	くらべる	まとめる	<p>○担任は、助言や補足説明など、必要に応じて行う。</p> <p>○提案者の思いが全員に共通理解できるように提案者に大きな声ではっきりと発表できるように助言する。</p> <p>○決まっている事を掲示する。</p> <p>○出された意見を短冊に要約し、まとめて貼る。</p> <p>○児童が学級ノートに自分の意見を書いておくことで安心し、教師のコメントが自信につながるようにする。</p> <p>○話合いのめあてから逸れた場合は、めあてを再確認するように助言する。「クラスのみんなが仲良くなれる遊び」はどんな遊びか想像し、「全員で楽しめる遊び」、などを考えて話し合うよう伝える。</p> <p>○説明が複雑なものは、画用紙に図を描いて用意する。</p> <p>○わからない遊びについては、質問をして共有していく。</p> <p>○遊びをしているところを思い浮かべて、めあてに合っているか確認する。</p> <p>☆司会グループとして司会や記録などの役割を積極的に果たしている。(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>☆よりよい集会に向けて考え、判断し、みんなでまとめようと話し合っている。(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○自分の思いをもてたか、友達の意見をよく聴けたかを振り返るようにする。</p> <p>○司会グループ、参加者の頑張っていた点、めあてや友達を意識した意見や態度などを見つけて称賛し、意欲をもって実践できるようにする。</p>
出し合う				
くらべる				
まとめる				

③板書計画

だい七回 学びの会

【まてい】 二年一組 なかよししゅうご会をしよう

【ていあんゆめち】 みんなもつとなかよくなつて、たのしい  
思い出をたくさんつくりたいと思つたか  
ら。

【めあて】 「クラスのみんながもつとなかよくなれる集会に  
しよう。」

【はなしあひだしの】 どんなあそびをするかをきめる。

- ・じゃんけんだしじんとりゲーム
- ・なんでもバスケット
- ・いすとりゲーム
- ・しりとりばくだんゲーム

【きまつたこと】

【ふりかえり】

【先生の話し】

【おわりのことば】

【決まていあひだしの】

○日にち 十二月十二日(水)

三時間目

○場所 教室

まとめる←くらべる←出し合う

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	支援 (○) と評価 (☆)
12月6日 (木)	役割分担を決める。	○これまでの経験を生かし、必要な役割を考えて全員で分担できるようにする。 ○必要な役割を考えるよう助言し、全員で協力して行うように声掛けする。
12月7日～ 12月11日	役割分担に基づいて準備をする。	○みんなが仲よくなる内容になるように活動を工夫できるように助言する。 ○協力して準備ができるように声掛けする。 ☆係の活動を協力して進めている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
12月12日 (水) 3校時	集会を実践する。	○集会のめあてを掲示し、意識できるようにする。 ○より仲良くなるように見守る。必要に応じて助言する。 ☆自己の役割や集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、仲よく助け合って実践している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
12月13日 (月) 朝の会	実践後の振り返りをする。	○振り返りカードに「めあてに沿った実践ができたか」「クラス目標に立ち返り、なかよくなることができたか」を振り返る。 ☆活動に対する自分の取組や、学級全体としての取組を振り返り、集会の意義を理解している。 (集団活動や生活についての知識・理解)